歯科材料 9 歯科用研削材料 一般医療機器 歯科用研削器材 70908000

松風研削·研磨材

*再使用禁止(松風スーパースナップ、メルサージュ(ブラシ、カップ))

* *【禁忌・禁止】

- ***1) 松風ラバーカップ、メルサージュ (カップ (No. 2、No. 3、 No. 12、No. 13)) は、天然ゴムを使用しています。天然 ゴムによるアナフィラキシー症状の既往歴がある歯科 医療従事者の使用及び患者への使用は禁止すること。
 - 区療にするい使用及い忘るへの使用は宗正すること。 2)メルサージュ(ペースト)及びメルサージュ(ペースト)に使用している成分に対し、発疹、皮膚炎等の既全歴のある患者には使用しないこと。
 - 住歴のある思有には使用しないこと。 3) ダイレクトダイヤペースト及びダイレクトダイヤペース トに使用している成分に対し、発疹、皮膚炎等の過敏 症の既往歴のある患者には使用しないこと。
 - *4) 松風スーパースナップ、メルサージュ (ブラシ、カッ プ) は再使用禁止。

【形状・構造及び原理等】

本材は、歯科用ダイヤモンドバー、歯科用ゴム製研磨材、歯科用カーバイドバー、歯科用研削器材、歯科技工用アブレシブ研削器具等を適宜組み合わせて構成される。 「成分]

スルサージュの成分:パーミス、シリカ、グリセリン、CMC、パ ラベン、モノフルオロリン酸ナトリウム、 その他

ダイレクトダイヤペーストの成分:グリセリン、ダイヤモンド粉、

着色材、その他

【使用目的又は効果】

本材は、歯科用ダイヤモンドバー、歯科用ゴム製研磨材、歯科用カーバイドバー、歯科用研削器材、歯科技工用アブレシブ研削器 具等の各種品目を組み合わせ同一包装することで利便性の向上を 目的としている。

日的としている。	
種類	使用目的又は効果
	ステンレス鋼基材にダイヤモンド砥粒をメ
松風ダイヤモンド ポイント	ッキにより固着したバーで、歯及び陶歯、陶
	材、コンポジットレジン、硬質レジン、金属
	の補綴物等の研削に用いる。
松風ダイヤモンド ポイントFG	ステンレス鋼基材にダイヤモンド砥粒をメ
	ッキにより固着したバーで、歯牙や骨等の硬
	組織及び補綴物等を研削に用いる。
松風ダイヤモンド ディスク	円盤状ステンレス鋼基材の周縁部にダイヤモン
	ド砥粒をメッキにより固着したディスクで、陶
	歯、陶材、金属等の補綴物等の研削に用いる。
シンタディスク	ダイヤモンド砥粒を金属で焼結したディス
	クで、陶材、歯冠用硬質レジンの隣接面のセ
	パレート及び形態修整 (S61T、S61UT)
	や、ラミネートベニアやポーセレンインレー
	の製作時の石こう模型や耐火埋没材切断
	(S62TW)に用いる。
松風シンター	
ダイヤHP	
ポーセレン	ダイヤモンド砥粒を金属で焼結したバーで、
マスターD	主に陶材の研削に用いる。
ポーセレン]
マスターSD	
	炭化けい素人造研削材をガラスで結合した
松風カーボ	アブレシブ研削材で、歯及び陶歯、陶材、硬
ランダムポイント	質レジン、金合金、パラジウム合金、銀合金
	の補綴物等の研削に用いる。
松風カーボ	炭化けい素人造研削材をガラスで結合した アブレシブ研削材で、歯科用硬質合金(ニッ
ランダムポイント	ケル・クロム合金、コバルト・クロム合金等)
ハード	の補綴物等の研削に用いる。
松風カーボ	炭化けい素人造研削材をガラスで結合した
ランダムポイント	アブレシブ研削材で、陶材、歯冠用硬質レジ
ファイン	ン、金属等の補綴物の研削に用いる。
	I .

種類	使用目的又は効果
1半次	アルミナ質人造研削材をガラスで結合した
	アブレシブ研削材で、歯及び陶歯、陶材、コ
松風ホワイト	
ポイント	ンポジットレジン、硬質レジンの補綴物等の
	研削に用いる。
松園わラエメカル	アルミナ質人造研削材をガラスで結合した
松風セラモメタル	アブレシブ研削材で、歯科用硬質合金(ニッケル・クロム合金等)及び陶材焼付用合金の
ポイント	焼付面の研削に用いる。
 松風ピンク	1
ポイント	アルミナ質人造研削材をガラスで結合した アブレシブ研削材で、歯科用硬質合金(ニッ
かインド 松風ブラウン	ケル・クロム合金、コバルト・クロム合金等)
	の補綴物等の研削に用いる。
ポイント	
松風カーボ	炭化けい素人造研削材をガラスで結合した
伝風ル ホ ランダムホイール	アブレシブ研削材で、陶歯、陶材、歯冠用硬 質レジン、金合金、パラジウム合金、銀合金
フンタムかイール	等の補綴物等の研削に用いる。
₩ EI	炭化けい素人造研削材をマグネシアセメン
松風チップレス	トで結合したアブレシブ研削材で、陶歯、陶
ホイール	材の研削に用いる。
	炭化けい素人造研削材をマグネシアセメン
松風ヒートレス	トで結合したアブレシブ研削材で、貴金属か
ホイール	ら硬質合金(ニッケル・クロム合金、コバル
	ト・クロム合金等)の補綴物の研削に用いる。
州国カッテ ハノガ	アルミナ質人造研削材をフェノール樹脂で
松風カッティング	結合したディスクで、硬質合金 (ニッケル・ クロム合金、コバルト・クロム合金等) のス
ディスク	プルーカットに用いる。
	アルミナ質人造研削材をフェノール樹脂
松風カッティング	で結合したホイールで、硬質合金(ニッ
ホイール	ケル・クロム合金、コバルト・クロム合
7.	金等)の研削に用いる。
	炭化けい素人造研削材をフェノール樹脂で結合し
松風セパレート	たディスクで、貴金属のスプルーカット(薄型)
ディスク	や、陶材、歯冠用硬質レジンの隣接面のセパレー
	ト及び形態修整(超薄型・極超薄型)に用いる。
松風シリコン	人造研削材を合成ゴムで結合したゴム製研 磨材で、歯科用充填材料、歯科補綴装置等の
ポイント	層材で、圏科用光填材料、圏科相級表直等の 研磨に用いる。
	炭化けい素人造研削材を合成ゴムで結合し
松風シリコン	たゴム製研磨材で、歯科用硬質合金(ニッケ
ポイントハード	ル・クロム合金、コバルト・クロム合金等)
	の補綴物の研磨に用いる。
松風シリコン	人造研削材を合成ゴムで結合したゴム製研
仏風シッコン カップ	磨材で、歯科用充填材料、歯科補綴装置等の
/ ⁴ / /	研磨に用いる。
松風ビッグ	炭化けい素人造研削材をシリコーンゴムで結合した。
シリコンポイント	たゴム製研磨材で、レジン床、各個トレー、歯冠 用硬質レジン及び硬質レジン歯の研磨に用いる。
	炭化けい素人造研削材を合成ゴムで結合し
松風シリコン	灰化けい素人遺研削材を合成コムで結合したゴム製研磨材で、歯科補綴装置等の研磨に
ホイール	用いる。
	炭化けい素人造研削材を合成ゴムで結合し
松風シリコン	たゴム製研磨材で、歯科用硬質合金(ニッケ
伝風フリコン ホイールハード	ル・クロム合金、コバルト・クロム合金等)
Mil AKA, I,	の補綴物の研磨に用いる。
松風シリコン	炭化けい素人造研削材を合成ゴムで結合した。これ制研解は多数な関係など
スティック	たゴム製研磨材で、歯科補綴装置等の研磨に
	用いる。
	炭化けい素人造研削材を合成ゴムで結合し
松風シリコン	たゴム製研磨材で、歯科用硬質合金(ニッケ
仏風シッコン スティックハード	ルクロム合金、コバルトクロム合金等)の補
ハノオ ジラ ハード	綴物の研磨に用いる。

種類	使用目的又は効果
松風ラバーカップ	天然ゴムのラテックス歯磨カップで、アマルガム、インレー、クラウン及び義歯床の研磨に用いる。
	PVC製のコア(保持部)の上部又は表面に研磨 シート又は研磨材粒子等を接着した研磨材で、コ ンポジットレジン充填後の研磨に用いる。
シリコンワングロス	アルミナ質人造研削材をシリコーンゴムで 結合したゴム製研磨材で、硬質レジンやコン ポジットレジンの修整・研磨及び余剰セメン
	トの除去に用いる。 ダイヤモンド砥粒を合成ゴムで結合したゴ
セラマスター	ム製研磨材で、陶材、歯冠用硬質レジン、硬質レジン歯、コンポジットレジン、メタルの 形態修整等の研磨に用いる。
コンポマスター	ダイヤモンド砥粒を合成ゴムで結合したゴム製研磨材で、コンポジットレジン、歯冠用 硬質レジン、硬質レジン歯、陶材、メタルの 形態修整等の研磨仕上げに用いる。
CRポリッシャー PS	ダイヤモンド砥粒を合成ゴムで結合したゴム製 研磨材で、歯科充填用コンポジットレジン、歯冠 用硬質レジン等の仕上げ研磨に用いる。
ジェット カーバイドバー	作業部がタングステンカーバイド製のバーで、保 存や補綴時に天然歯等の切削に用いる。
松風技工用 カーバイドバー	作業部がタングステンカーバイド製のバー で、レジン床やコバルト・クロム合金、石膏 模型等の切削に用いる。
フィッシャーカー バ	作業部がタングステンカーバイド製のバー で、補綴物等の細部切削に用いる。
エラスチールバー	作業部が工具鋼製のバーで、補綴物等の研削 及びレジン歯、レジン床、歯冠用硬質レジン、 金属等の形態修整及びう蝕象牙質の除去に 用いる。
プレサージュ	天然溶岩粒子を合成ゴムで結合したゴム製 研磨材で、タバコのヤニ等の汚れの除去、ス
ポイント	ケーリング後の歯面研磨、矯正装置着脱前後 の歯面研磨に用いる。 研磨ペースト、ナイロンブラシ、ゴム製カッ
メルサージュ	プより構成され、歯面研磨、清掃に用いる。 作業部が羊毛ブラシ製の研磨器材で、デュラ
松風ピボット ブラシ	ポリッシュ等の技工用の研磨コンパウンドを付けて歯科修復物の研磨(ピボットブラシ)に用いる。 作業部が砥粒含有アラミドブラシ製の研磨器材で硬質レジンの技工研磨(ピボットブランSC)に用いる。
松風フェルト ホイール	羊毛製フェルトで、歯科修復物の研磨に用い る。
松風マンドレル	歯科用研削・研磨材のディスクやホイールを 取付ける回転心棒。 スクリュータイプの研削・研磨材を取付ける
PCP マンドレル 松風 ビトリファイ	スクリューティノの研制・研磨材を取りける 回転心棒。 陶材、セラミックス等の補綴物の研削に用い
ドダイヤ 松風カッティング	る器材である。
ディスク Gメッシュ	歯科技工物の研削に用いる。 口腔内の歯科充填物・歯冠補綴物(陶材、コ
ダイレクトダイヤ ペースト	ンポジットレジン、硬質レジン、金属等)の 光沢研磨に使用する。天然歯の清掃及び光沢 研磨に使用する。
ジルコシャイン	ダイヤモンド粒子を合成ゴムで結合した研削材で、ジルコニア等の修整及び研磨仕上げに用いる。
ダイヤインブラシ	ダイヤモンド砥粒を含有したファイバーを 軸に保持させた研磨用ブラシで、歯科補綴物 等の研磨に用いる。
デュラポリッシュ	歯科用電気エンジンやマイクロモーターに装着した松風ピボットブラシ、松風フェルトホイール等に付けて歯科修復物を口腔外で研磨する際に使用する。 1) デュラポリッシュは金属、硬質レジン、硬質レジン歯、義歯床用レジンの中仕上げ研磨及び仕上げ研磨に使用する。 2) デュラポリッシュ ダイヤは硬質レジン、硬質レジン歯、陶材の艶出し研磨に使用

する。

*【使用方法等】

- 1) 本材を口腔内で使用する際には、滅菌して使用します。
- 2) 本材のHP、CA、FGは歯科用空気回転駆動装置、歯科用ガス圧式ハンドピース、歯科用電動式ハンドピース、歯科用電気エンジン、マイクロモーター及び高速レーズ等に装着して、通法により使用します。
- 3) 本材のホイール、ディスク等は歯科用マンドレルに取付け、 歯科用電気エンジン、高速レーズ等に装着して使用します。
- *4) 口腔内で使用後、再使用する際には速やかに、清掃液、消毒 剤を用いて付着物を除去した後、滅菌を行います。 オートクレーブ (134℃3 分又は 121℃30 分) による滅菌を行います。ただし、松風ラバーカップは各種薬液による滅菌、 エラスチールバーはケミクレーブ等による滅菌を行います。

[使用方法に関連する使用上の注意]

- 1) ハンドピースメーカーの指示に従って、シャンクを確実に奥まで挿入して半チャックでないことを確認すること。
- 2) 本材を歯科用マンドレルに取付けて使用する場合は、確実に 固定し、必ず右回転で使用すること。なお、薄型ディスク等 は添付の金属製ワッシャをはめて使用すること。
- 3) 使用前に予備回転を行い、振れがないことを確認すること。
- 4) 作業部の細いもの、長いもの、大きい形状のものは、折れた り曲がったりすることがあるので、無理な角度や過度の加圧 での使用は避けること。
- 5) 本材の歯科用ゴム製研磨材(シリコン類等)は研磨時の摩擦 熱によりゴムが劣化することがあるので、過度の加圧や回転 速度での連続的な使用は避けること。
- 6) 本材の歯科用ゴム製研磨材(シリコン類等)でアマルガムの 研磨の際は、注水下で発熱を避けて使用すること。また、研 磨屑は確実に吸引すること。
- 7) 滅菌時は、オートクレーブや水洗等の水分付着による発錆を 避けるため、速やかに乾燥させること。また、塩素系薬液等 の金属腐食性の薬液は使用しないこと。
- *8) 松風スーパースナップ、メルサージュ (ブラシ、カップ) は 再使用しないこと。

【使用上の注意】

- 1) 重要な基本的注意
- ①指定(製品の被包に記載)の最高許容回転速度を超えて使用しないこと。
- ②変形、損傷(錆、表面キズ、曲がり、汚損)等のあるものは 使用しないこと。
- ③本材を使用して研削する際には、局所吸塵装置、公的機関が 認可した防塵マスク等を使用すること。
- ④目の損傷を防ぐために、保護眼鏡等を使用すること。
- ⑤口腔内で使用する際は、注水下において、ソフトタッチで断続的に研削を行うこと。
- ⑥天然ゴムは、かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困 難、喘息様症状、血圧低下、ショック等のアレルギー性症状 をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした 場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談する等適切な処 置を施すこと。

【保管方法及び有効期間等】

[保管方法]

- ・水分、腐食性薬剤及びその蒸気の暴露を避けて、外圧(物理的 負荷)及び汚染を受けないように保管すること。
- ・メルサージュ、ラバーカップは、高温、直射日光を避け、常温、 常湿で保管すること。
- ・ダイレクトダイヤペーストは、高温・直射日光を避け、室温(1~30℃)で保管すること。
- ・デュラポリッシュは、高温、多湿、直射日光、火気等を避けて、室温(1~30℃)で保管すること。
- ・歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 株式会社 松風 住所 〒605-0983

京都市東山区福稲上高松町 11

電話番号 075-561-1112